

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

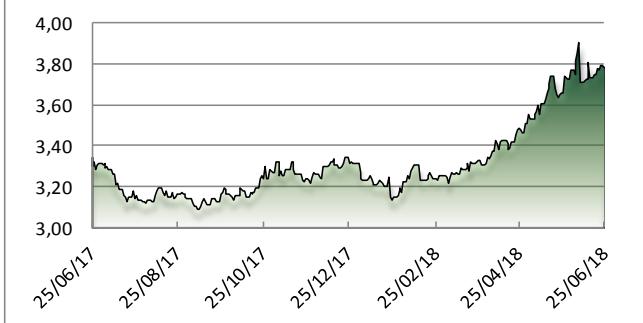
グローバルな貿易摩擦に起因するリスク回避姿勢の強まりから昨日のドルレアルスポット相場もレアル安水準で取引が開始されると想定されたが、ブラジル最高裁が本日26日に予定されていたLula元大統領に関する審理をキャンセルしたことを受け、一時3.76台前半までレアル買いが進行した。今回の申請見送りは、同元大統領の大統領選出馬の確度をさらに低下させるものであり、大手コンサルティング会社Eurasiaも、「(再審請求は依然可能であるが)同大統領が大統領選まで拘留される見通しは高まっている」との見解を示している。また、ブラジル中銀は昨日、予告通り30億ドルのFXクレジットラインの入札を実施(スワップは見送り)。一時的に相場を抑制する効果はあったものの、レアル売り圧力は根強く、再び3.78台まで反落。現時点で本日の介入規模は通知されていないものの、中銀は繰り返し、「スワップ残高を過去の水準まで積み上げることは可能」と述べており(実際には外貨準備の金額がスワップ残高の天井になるとマーケット参加者は考えている)、他の新興国対比レアルの下落速度が早くなれば、スワップ介入が第一手段になることに変わりはない。ブラジル経済に対する見通しも日に日に悪化している。中銀が昨日公表した週次レポート(FOCUS)によると、年末の成長率見通しが前週の1.76%から1.55%へ急落(8週連続)。この水準は2016年4月以来であり、マーケット参加者はストライキの影響や財政、政治を巡る不確実性を背景に弱気な見通しを強めている。なお、2019年の見通しについても、2.70%から2.60%へ低下(3週連続)。

マーケットデータ

Indicator	Unit	6月22日	6月25日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値	
レアル	対ドル	BRL	3,7856	3,7745	-0,29%	3,31%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	29,06	29,09	0,10%	-2,86%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,4110	4,4198	0,20%	3,88%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	109,97	109,77	-0,18%	0,33%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	128,15	128,48	0,26%	0,82%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	70,641	70,953	0,44%	-10,07%	88,318	69,069	
CDS Brazil 5yrs	bps	265,10	264,60	-0,19%	37,40%	285,83	142,50	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,11	11,94	-1,40%	8,07%	12,40	9,43	
DI Future Jan19 (金利先物)	%	7,04	7,00	-0,57%	4,79%	7,88	6,21	
3 Months US Dollar Libor	%	2,3389	2,3389	0,00%	0,90%	2,3691	1,6959	
CRB Index (国際商品指数)	Index	197,53	195,34	-1,11%	-3,94%	206,95	187,35	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

